

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2024年4月5日）

■第1版 第1刷（2024年4月15日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第3章 膵臓の歩き方					
65	表2の説明文	文献4	文献5		24/04/05
69	表3			※1参照	24/04/05
	表3の説明文	文献5	文献11	※1参照	24/04/05
70	文献		11) Tanaka M, et al : Revisions of international consensus Fukuoka guidelines for the management of IPMN of the pancreas. Pancreatology, 17 : 738-53, 2017	追加事項	24/04/05

図表

※1

表3 IPMNの診療方針

A “high-risk stigmata”（手術適応）

- ・膵頭部嚢胞性病変による閉塞性黄疸
- ・5 mm以上の造影結節 ・主膵管径10mm以上

B “worrisome feature”（要精査）

- ・臨床的に膵炎 ・尾側膵萎縮を伴う主膵管狭窄
- ・嚢胞径30 mm以上 ・リンパ節腫大
- ・5 mm未満の造影結節 ・血中CA19-9上昇
- ・厚い/造影される嚢胞壁 ・嚢胞増大速度 \geq 5 mm/2年
- ・主膵管径5～9 mm

『IPMN国際診療ガイドライン2017年版』で“high-risk stigmata”（手術適応），“worrisome feature”（慎重な精査と経過観察）の所見がまとめられている。
文献11を元に作成。